



筑波山地域ジオパークNEWS

問合せ／商工観光課（☎0296-5511159直通）

認定から4周年 再認定審査へ

ジオパークは、「大地の公園」ともいわれ、地球の活動でできた地質学的に貴重で美しい景観を含んだ場所を指します。それらを保全しながら、教育や観光の推進に活用し、地域の持続的な発展に寄与することが目的です。

当地域は、そこで採れる石、土、水を活かした石材業、窯業、農業、醸造業などが発展し、古くから栄えてきました。そこで、人々の暮らしに深く関わってきた山・湖・平野を構成する特徴的な地形や地質をジオパークとして登録

し、生態系や人々の営みと併せて様々な視点から紹介しています。多様な媒体による情報発信のほか、説明会や各種イベントの開催、ガイドによるジオツアー、地元産食材を使用したジオ商品の開発・販売を行っています。

四年に一度の再認定審査に向けてこのような活動を続け、まずは地域の皆さんに価値を再認識していただき、さらに訪れる人々へ伝えることで、当地域の魅力が全国に拡散されていくことを目指しています。



筑波山地域ジオパーク

つくば市、石岡市、笠間市、桜川市、土浦市、かすみがうら市の6市で構成され、筑波山を中心とした山塊と、日本で2番目に大きい湖・霞ヶ浦、その周囲に関東平野が広がる特徴的な地形や地質を有する地域

筑波山地域ジオパークジオツアー参加者募集

日本の原風景・小さな旅「門毛」

門毛地区をはじめ岩瀬盆地は、北は高峯や富谷山、南は加波山などに囲まれた低地と緩やかな丘が広がります。丘の地質は貝の化石も見られる粘土層からなり、50万年前には海の影響があったことがわかります。丘は益子町まで続いているので、粘土層は益子焼の原土の一部だと考えられます。また、周辺の山々は恐竜が栄えた2.1億〜1.5億年前の岩石からなり、江戸時代には、金の採掘をしていたことから、幕府天領になっていました。

今回は門毛散策をジオの視点からご案内します。

■開催日／10月18日（日）

※小雨決行、荒天中止

■集合場所／市役所 真壁庁舎、岩瀬駅、岩瀬体育館「ラスカ」

■コース／門毛多目的集会所 ↓ 洞源寺 ↓ 鶏足山の地層 ↓ 陶芸家ローランドサクセ窯 ↓ 門毛の丘 ↓ 柳沢の丘 ↓ 上の車・熱水鉱床 ↓ 斜面堆積物と丘陵の

地質

■対象／県内在住の方

■定員／20名（先着順）

■参加費／2千円（昼食・資料・保険代込）※当日支払い

■服装／ハイキングができる服装、帽子、運動靴など

■持ち物／マスク、飲み物など

■ガイド／住民ガイド、認定ジオガイド

■その他／マスク着用など新型コロナウイルス感染症防止対策への協力をお願いします。また感染状況により、中止になる場合があります。

■問合せ・申込先／商工観光課（☎0296-5511159直通）



寄付

有限会社渡邊石材商事（渡辺章代表取締役）から、感染症防止対策のために役立ててほしいと、まかべ石を使用した窓口カウンター

衝立5台の寄贈がありました。



市役所大和庁舎に設置された衝立を囲む 大塚市長と渡辺代表取締役（左）



寄付

寄贈